

上位計画の整理

総合計画

第2次総合計画（2014年～2023年）の基本理念

やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ

「やさしさ」や人と人との「ふれあい」は、人を思いやる心によって生まれ、このことは東日本大震災の教訓として再認識した、**地域の助けあい・支えあいや人と人との絆**となって、**地域における強い力**となります。
また、わたしたちがこのまちを愛し、「**まちを楽しむ**」ことから**一步前へ踏み出し**、「**みんなでまちをつくる**」ことに**参画**し、**みんなが輝く**ことのできる魅力あるまちを築くことで、**このまちに暮らす誇りを次世代へとつなげ**ることができます。

第3次総合計画（2024年～2033年）案の基本理念

ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京

わたしたちの西東京市を取り巻く社会経済情勢はめまぐるしく変わりつつあります。将来にわたり市民が満足できる西東京市を創り上げるために、市民、市民活動団体、事業者や行政等の**さまざまな主体がともに課題に向き合い**、変化や危機に対して柔軟に対応していくことが求められています。
そのため、わたしたち一人ひとりが、**西東京市の未来を「自分ごと」として捉え**、**主体的にまちづくりに関わり**、**責任を持って次世代へとつなげていく**必要があると考えています。

地域福祉計画

第4期計画（2014年～2023年）の基本理念

地域でふれあい 支え合う 心のかようまち 西東京
～ともに生きる！まちづくり～

第5期計画（2024年～2033年）案の基本理念

～令和5年度に見直し中～

障害者基本計画

現行計画（2014年～2023年）の基本理念

障害のある人が、その生涯にわたって、個人としての尊厳が守られ、主体的にいいきと活動し、住み慣れた地域の中で、安心して生活できるまちづくりを進めます。

次期計画（2024年～2033年）案の基本理念（案）

たがいを大切にする、優しいまち

<見直しの方向性>

- ・上位計画で重視している理念を反映したい
- ・ポジティブな言葉で未来を表現したい
- ・障害のある方だけでなく、一般市民に対しても伝わりやすいものにしたい
- ・できるだけ端的に、わかりやすく覚えやすい表現としたい

【基本方針1】

ライフステージを通じて切れ目のない支援に取り組みます。

【基本方針2】

主体的にいいきと活動するための支援に取り組みます。

【基本方針3】

地域で安心して快適に、健康であると実感しながら暮らすことができるまちづくりを進めます。